岩国市
IWAKUNI　CITY

岩国市の推進構想

1　地域連携教育の「成果」と「課題」

〈成果〉

○　地域連携教育だより「つながり」による広報活動による子ども・教職員・地域の声の紹介や各校の取組の共有、価値づけ

○　新規採用3年目までを対象にした研修会の実施による地域連携担当者以外の理解促進と意欲向上

○　協議会や活動への訪問を通した関係者の自己有用感、自己肯定感の育成促進

〈課題〉

● 新たな人材の確保
　持続可能な活動・体制づくり

● 子どもを中心にした活動の展開
　参加から参画へ（児童生徒、保護者、教職員）

● 社会教育指導員等とのさらなる連携
　公民館等との連携、カリキュラム・マネジメント



2 「課題」解決に向けた重点取組事項

・地域連携活動への参観や参加をきっかけにした人材の確保（保護者、地域住民）
・要請訪問（学校運営協議会、地域協育ネット協議会）においての適切な指導・助言
・情報発信や理解促進のための広報活動の充実、市のホームページへの掲載
・取組の目的の明確化と活動の中でつながりが生まれるような仕掛けづくり
・児童生徒の自己有用感の醸成や、児童生徒に直接関わる教員や地域住民の地域連携教育の理解や意識啓発のための広報活動の充実（価値づけや声掛けの重要性等）
・これからの学校を担う若手教員の地域連携教育への理解を深める研修会
・小中一貫教育や小小連携、高校との連携による生涯を通じた学びの連続性の促進
・各協議会や研修会での教育委員会による働きかけや支援
　（公民館活動や地域団体との連携促進）
・教科等の各単元での地域住民の参加の模索
・学校・地域連携カリキュラムの見直し（スクラップ＆ビルド）

3　重点取組事項の進捗を図る指標

・各地域の地域連携教育に関する課題を認識し、課題解決に向けて取り組んだ割合
・児童生徒が地域の人と学習することや活動することが楽しいと感じている割合
・地域のことが分かった、地域をもっとよくするために考えたことがある児童生徒の割合
・学校運営協議会等で学校・地域連携カリキュラムの課題の検討と見直しを行った割合

活動取組

美和小学校



地域の伝統芸能を学習として教材化し、イベントで演奏・演技することで、地域の活性化にも貢献している。

灘中学校



生徒会と学校運営協議会が一体となり、地域の絆を深めるための具体的な取組を進めている。

玖珂小学校



7つのクラブ活動に、1年を通して地域住民が指導者として参加し、児童は「学ぶ楽しさ」を体得している。

御庄小学校



子ども学習教室を，地域住民や卒業生を指導者として招聘し、公民館を会場として公民館主体で実践している。